

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	第二期足立区において地域特性に応じた都市・まちを計画的につくる								重点配分対象の該当		－														
計画の期間	平成27年度～平成31(令和元)年度（5年間）					交付対象		足立区																	
計画の目標	区内に点在する大規模な工場等跡地において良質な住宅の供給を誘導し、まちの活力源となる新たな居住者の流入を促す。 併せて駅前広場や幹線道路の整備を行い、まちの交通結節機能と公共交通網を強化することで、良好な住宅市街地の形成を図る。																								
計画の成果目標(定量的指標)		【成果目標1】平成31(令和元)年度までに「バス及びタクシー乗降場が設けられる駅前・交通広場」を1カ所(5,500㎡)整備する。 ※足立区基本計画では、まちづくり分野の施策のひとつとして「駅周辺・拠点開発を進める」を掲げており、「駅前広場等整備面積」を開発状況を判定する指標としている。 ※対象施設:足立区画街路第9号線交通広場(西新井駅西口周辺地区) 【成果目標2】平成31(令和元)年度までに「地域幹線道路・地区幹線道路の整備率」を70%とすることで、交通利便性の向上を図る。 ※区では、道路機能を有効に発揮させるため、道路を幹線道路・地域幹線道路・地区幹線道路・生活道路に分類し、これら道路の適切な配置・整備を図っている。 ※対象施設:補助第138号線Ⅱ工区、主要区画道路②その2工区(西新井駅西口周辺地区) :足立区画街路第13号線(北千住駅東口周辺地区)																							
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値								備考													
				当初現況値 (H27当初)		中間目標値 (H29末)		最終目標値 (H31末)																	
【成果目標1】実施状況をもとに算出する。 ◇駅前広場の拡充整備 ◇駅前広場整備に伴うタクシープールの整備箇所数 ◇駅前広場整備に伴い実現するバスの発車便数				3, 300㎡ 8台 366台／日		－		5, 500㎡ 12台 520台／日		千住大川端地区については、閑屋公園の設計を計画していたが定量的指標に含めていない。 今後第三期整備計画以降に公園整備率を設定することで効果が発現される。(0ha→1ha)															
【成果目標2】実施状況をもとに算出する。 ◇道路の整備率＝(住市総事業整備地区内で整備された地域・地区幹線道路の延長)／(地域・地区幹線道路の計画延長) %				68.6%		－		71.6%																	
全体事業費		合計 (A+B+C+D)		1,796 百万円		A		1,796 百万円		B		0 百万円		C		0 百万円		D		0 百万円		効果促進事業の割合 C／(A+B+C+D)		0.0%	
事後評価																									
○事後評価の実施体制、実施時期																									
事後評価の実施体制				令和元年12月4日				現地視察				事後評価の実施時期				平成31(令和元)年度									
足立区社会資本総合整備計画 評価委員会				令和元年12月13日				現地視察				公表の方法													
				令和2年1月24日～2月22日				パブリックコメントの実施																	
				令和2年3月18日				個別説明による各評価委員からの評価 (新型コロナウイルスの影響により委員会は中止)								インターネット(足立区公式ホームページ) 令和2年3月下旬頃									
1. 交付対象事業の進捗状況																									
交付対象事業																									
A 基幹事業																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考										
1-A-1	住宅	一般	足立区	直接	区	北千住駅東口周辺地区住宅市街地総合整備事業	拠点地区の整備(約20.7ha)	足立区	H27	H28	H29	H30	H31(R元)	0											
1-A-2	住宅	一般	足立区	直接	区	西新井駅西口周辺地区住宅市街地総合整備事業	拠点地区の整備(約94.3ha)	足立区						1,796											
1-A-3	住宅	一般	足立区	直接	区	千住大川端地区住宅市街地総合整備事業	拠点地区の整備(約47.3ha)	足立区						0											
合計														1,796											
B 関連社会資本整備事業(該当なし)																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考										
－	－	－	－	－	－	－	－	－	H27	H28	H29	H30	H31(R元)	－											
C 効果促進事業(該当なし)																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考										
－	－	－	－	－	－	－	－	－	H27	H28	H29	H30	H31(R元)	－											
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業(該当なし)																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考										
－	－	－	－	－	－	－	－	－	H27	H28	H29	H30	H31(R元)	－											

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の 効果の発現状況

【成果目標1】
（西新井駅西口周辺地区）
●足立区画街路第9号線交通広場
同指標は、平成26年度に都市計画変更・告示された西新井駅西口周辺地区の足立区画街路第9号線交通広場（面積5,500㎡）が整備完了し、供用開始により達成が可能となる。
しかし、駅ビルの再築の動向や事業化に向けた関係者の協議に予想以上の時間を要し、現時点では一定の合意のもと、令和3年度の事業認可取得を目指して引き続き協議を進め事業完了は、おおむね10年後を見込んでいる。そのため、本計画期間内での事業の効果の発現は見られないが、次期整備計画以降に効果が発現される見込みである。

【成果目標2】
（北千住駅東口周辺地区）
●足立区画街路第13号線
同指標は、北千住駅東口周辺地区の足立区画街路第13号線（幅員12m）の拡幅整備であるが、現在事業手法検討中のため効果の発現は次期以降になる。

（西新井駅西口周辺地区）
●主要区画道路②Ⅱ区間
同指標は、西新井駅西口周辺地区の主要区画道路②Ⅱ区間（延長240m）が整備完了し、供用開始により達成が可能となる。
しかし、本計画期間中の平成28年度に足立区無電柱化推進計画の対象路線となったため、工事期間が当初予定よりも長引き、現時点では令和2年度末の完成、供用開始予定となっている。
そのため、本計画期間内での事業効果の発現は見られないが、第三期整備計画の当初年度には効果が発現される見込みである。

Ⅱ 定量的指標の達成状況	① 平成31年度までに「バス及びタクシー乗降場が設けられる駅前・交通広場」を1カ所(5,500㎡)整備する。	◇駅前広場の拡充整備	最終目標値	5,500㎡	目標値と実績値に差が出た要因	(西新井駅西口周辺地区) ●足立区画街路第9号線交通広場 第二期計画作成後、平成27年から駅出入口位置を含む東西自由通路の整備のあり方について検討を開始するなど、東武鉄道や関係者との協議に予想以上の時間を要し、交通広場事業認可の手続きも行えず事業化に至らなかった。 したがって、最終実績値は当初現状値と変わっていない。
			最終実績値	3,300㎡		
		◇駅前広場整備に伴うタクシープールの整備箇所数	最終目標値	12台	目標値と実績値に差が出た要因	同上
			最終実績値	8台		
	◇駅前広場整備に伴い実現するバスの発車便数	最終目標値	520台/日	目標値と実績値に差が出た要因	同上	
		最終実績値	366台/日			
	② 平成31年度までに「地域幹線道路・地区幹線道路の整備率」を70%とすることで、交通利便性の向上を図る。	◇地域・地区幹線道路の整備率	最終目標値	71.6%	目標値と実績値に差が出た要因	(北千住駅東口周辺地区) ●足立区画街路第13号線 足立区画街路第13号線を拡幅する事業手法について、地権者と一緒にメリットある手法を検討中である為、事業化に至らなかった。 したがって、最終実績値は当初現状値と変わっていない。
			最終実績値	68.6%		

Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の 発現状況（必要に応じて記述）

(北千住駅東口周辺地区)

- 足立区画街路第13号線
地元発意による再開発準備組合が設立されるなど、道路拡幅と合わせて都市機能の更新、新たな顔づくりなどへの期待が高まっている。今年度、当地区のまちづくり構想を見直している。

(西新井駅西口周辺地区)

- 足立区画街路第9号線交通広場
交通広場に接する駅ビルの建替に着手。新たな駅前の顔づくりや活性化への期待が高まっている。
- 補助第138号線その2工区
道路事業による建替により、沿道30m区域内の防火造・木造棟数は従前の100棟から80棟に減少し、木造密集市街地の防災性向上に貢献している。

(千住大川端地区)

- 関屋公園
整備予定のボックスカルバート上部に、既設公園を拡大整備する計画であったが、地域の意向を踏まえ、ボックスカルバートの道路計画と公園計画もあわせて見直すことにより、安全性、快適性の向上に資する公園整備への期待が高まっている。

- 西新井駅西口駅前の足立区画街路第9号線交通広場の事業化により、交通機能の集約と利便性の向上を目指していく。
- 各事業地区で地域・地区幹線道路の事業進捗を図り、道路交通網の強化を目指していく。
- 閑屋公園の整備にあわせて、快適で安全な都市環境の創出を目指していく。また、民間地権者等と連携して千住大川端地区(A工区)の拠点開発を適切に誘導していく。